

祝 苫小牧港開港60周年

今月の

CLOSE UP
クローズアップ

詳細 港管理組合
☎(34) 5905
市港湾・企業振興課
☎(32) 6438

1 苫小牧港の歴史

🚢 60周年の歴史

苫小牧港は、令和5年4月25日に開港60周年を迎えます。昭和38年4月25日、石炭の積出港として現在の西港区が開港して以来、利用する船舶は年々増加していきました。その後、北海道における産業構造の高度化を推進するための「苫小牧東部大規模工業基地開発計画」に沿って、昭和51年、東港区の建設に着手し、昭和55年に第1船を迎えました。

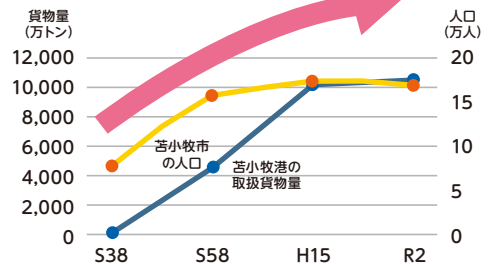
こうした港の発展とともに、港の背後には多種多様な企業が立地し、街並みも移り変わっていきました。今では北海道経済、日本経済を支える北日本最大の港湾として発展を遂げています。



🚢 苫小牧港と市の発展

苫小牧港周辺には物流・製造の分野において、多くの企業が進出し、雇用を創出しています。開港して以来、苫小牧港の港湾取扱貨物量*の伸びと、市の人口の伸びのカーブはほぼ一致しています。苫小牧港の活性化は、市の発展につながっているのです。

*船舶によって港湾と他の港湾との間で輸送された貨物のこと



▲苫小牧市の人口と苫小牧港の取扱貨物量の推移



▲苫小牧市街地と苫小牧港(昭和38年)



▲一条通のにぎわい(昭和38年)



▲くす玉を割って祝った入船式(昭和38年4月25日)

3 今さら聞けない? 苫小牧港のこと

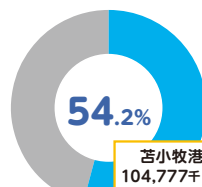
苫小牧港は、更地であった砂浜を掘削し、石狩・空知炭田で採れた石炭の積出港として開港しました。世界初の大規模な人工掘り込み式港湾であり、土木遺産*にも認定されています。

*苫小牧港大規模掘込港湾施設として平成30年度土木学会推奨土木遺産に認定



苫小牧港はもともと陸だった!?

苫小牧港は、北海道の港湾取扱貨物量の半分以上を担っています。(道内1位、全国4位)



北海道港湾統計資料(令和3年)



苫小牧港の貨物量は道内1位!!